

No	22												
指標名	誤嚥性肺炎再入院率												
定義	<p>(分子) 分母のうち、4週間以内に呼吸器系疾患で自院に再入院した患者数</p> <p>(分母) 前期の誤嚥性肺炎の退院患者数</p> <p>※呼吸器疾患…診断群分類表に基づいたMDC04を対象とする</p>												
結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>当院 (%)</th> <th>全国中央値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2017年度</td> <td>2.8%</td> <td>5.3%</td> </tr> <tr> <td>2018年度</td> <td>12.5%</td> <td>5.8%</td> </tr> <tr> <td>2019年度</td> <td>7.2%</td> <td>5.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(当院) 2017年度、2018年度、2019年度における当院のデータ (全国) 2017年度、2018年度、2019年度に実施した病院の中央値 (2020/04/25時点) ※他院との詳細な比較につきましては「全国自治体病院協議会 医療の質の評価・公表等推進事業」のページをご参照ください。</p>	年度	当院 (%)	全国中央値 (%)	2017年度	2.8%	5.3%	2018年度	12.5%	5.8%	2019年度	7.2%	5.2%
年度	当院 (%)	全国中央値 (%)											
2017年度	2.8%	5.3%											
2018年度	12.5%	5.8%											
2019年度	7.2%	5.2%											
コメント (解説)	<p>食事や唾液などを気管、肺などに誤って飲み込むことを誤嚥と言い、それが十分に嚙出できなかったり、誤嚥を繰り返すと誤嚥性肺炎となります。</p> <p>摂食指導や吸引等により、誤嚥性肺炎の再発をなるべく避けようとしています。</p> <p>前回退院後4週間以内での再入院する患者の割合をみています。</p> <p>現在、TQM活動の一環で言語聴覚士、看護師、栄養部を中心に嚥下指導マニュアルが作成され、誤嚥性肺炎の改善に取り組むようになっています。</p> <p>2018年度の再入院率は増加傾向でしたが、2019年度は低下傾向になっています。</p>												